

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY EDUCATION 佐藤校		公表日		2025年2月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		席数、スペース適切である。	まとまった時間が取れた時に整理整頓をして収納できたら少しでもスペースが広くなると思う。 動線をできるだけ広くするべきだと思う。 配線を足を引っかかないように、もう少し整備が必要ではないか？		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		職員でやることを分担して工夫していると思う。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3		バリアフリーがなされていないためあったらいいと思った。車椅子の子や介助が必要な子がいるためトイレスペースももっと広いといいと思った。 荷物を置く歩くスペースが少なくなってしまうことに改善が必要だと思う。 出入口に段差があったり、トイレが狭かったり身体障害者に対する設備は十分ではないと思う。 事業所入口段差あり		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	フリースペースのように子供達に好きな席に座ってもらいすらなどに取り組んでもらえる。交流の際は真ん中のスペースでみんなで囲える形になっている。	洗面所の匂いがこもることに改善が必要だと思う。 余裕を持って個別な空間を提供できるほどのスペースは感じられない。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	個室はないが、パーテーションで区切りスペースを用意している 個別部屋はないがパーテーションで区切っている。	個室がないことに改善が必要だと思う。 余裕を持って個別な空間を提供できるほどのスペースは感じられない。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	事業所会議等で月単位での目標等話し合えている。振り返り等も行っている。	もっと細かく話し合う時間が取れたらいいかと思う。 情報共有できていないことが多々あることに改善が必要だと思う。 定期会議で確認を行っている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者からなにか要望があったときは職員間で共有して工夫していると思う。	知る機会がまだない。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		よく話を聞いてもらい改善できる点は改善してもらっている 事業所会議等で意見交換をして工夫していると思う。 定期会議にて行っている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		定期的な第三者による評価が必要だと思う。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部研修を何度か行っている 研修の機会が多く工夫していると思う。			
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		事業所の特性に合わせたプログラムを考えて工夫していると思う。 義務化される2025年度までには出来るよう、2024年度末には公表予定で進めている				

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		子どもに関しての情報を共有しており工夫していると思う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援会議をおこなっているできるだけ多くの職員が児童の情報を伝えて工夫していると思う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画を共有しており工夫していると思う。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		ケア記録を書いてすぐ見れる環境を作っており工夫していると思う。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		地域支援・地域連携の部分が足りないことがあると思う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎月意見を出し合っており工夫していると思う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	すららだけでなく運動プログラムや空間認知トレーニングなど行っているできるだけ様々な体験ができるようにしており工夫していると思う。	メインの活動プログラムとして「すらら」による学習システムが用意されているので、定着していると感じる。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもにあった計画を作成しており工夫していると思う。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝礼で周知を行っている	打ち合わせをしていない日があるため改善が必要だと思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	伝えきれない部分は翌日朝礼にて	支援後には行っていない。次の日の朝など情報を共有するなど改善が必要だと思う。気付いた点や注意点などは支援中にも共有し合ったりしているものの、支援終了後、他の職員の送迎に時間がかかるので、打ち合わせなどを確保する時間的な余裕は感じられない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		ケア記録を毎日記入しているケア記録などで記録をとっており工夫していると思う。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行っており工夫していると思う。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自分で決めさせる、選ばせる等なにかを決める際に行うようにしているプログラムでいくつか選択肢があると自分で選ぶことができるため工夫しているため。意思の尊重をしている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者が児発管参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	状況に応じて行っている。	もっと他の場所での様子を共有した方がいいと思う。

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	状況に応じて行っている。	まだその場面に居合わせたことがない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	必要に応じて行っている。	まだその場面を見たことがない。 対象者がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		アドバイスをもらえる機会があればいいと思う。 スーパーバイザーと会う機会がなかった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	イベント、お出かけ等の参加	色々な人と関わる機会があればいいと思う。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳や送迎でその日あったことを伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	送迎時、電話で行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	4		まだそのような交流の場を見たことがない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			SNSをもっと活用できればいいと思う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		各ご家庭の背景を配慮している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	夏祭り	今のところ地域との交流などを行っている様子はない。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		児童にも参加してもらい一緒に動きを確認していると思う。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				